



奈良県東部中山間地を結ぶ「工房街道」づくり (工房街道推進協議会)

奈良県東部の中山間地域には、豊かな自然と古代からの歴史・生活文化が育まれ、伝統工芸の和紙や地場産業の木工、陶芸など、約 200 ものさまざまな「ものづくり」の工房がある。

「工房街道推進協議会」は、この地域の工房や団体、都市在住デザイナー、学識経験者らが集まって、2008年に設立。質の高い生活・空間演出用工芸品等の提供や、工房などでの体験型交流サービスの提供を行う「工房街道」づくり事業が進められている。

この地域は、もともと南北の地域間のつながり
があまり強くないが、北から国道 369 号線が山間
を縫って整備され、途中、東西に走る西名阪自動
車道、初瀬街道（国道 165 号）と結節、続いて伊
勢本街道（国道 370 号）など



を通り吉野に至ることから、「工房街道」づくり事業で地域間のつながりをつくることで、大阪、三重・愛知方面に対して、さまざまな工房や歴史文化資源を巡り、地域住民との交流から楽しむことができる新たな観光交流の地として期待される。

■「工房街道」の交流活動拠点「吉野・三茶屋」

工房街道づくり事業の情報発信をはじめ、奈良県東部地域にあるさまざまな「ものづくり」を知ってもらうために、交流活動拠点施設「吉野・三茶屋」を 2010 年 4 月に吉野町にオープンした。

作家たちの作品の商品展示・販売のほか、テーマ性を持った企画展やものづくり体験イベントが催され、ものづくりに興味を持つ方が県内外から訪れる。

特に、ものづくり体験は定評があり、GWや夏休み期間中は、子どもたちを対象に「ものづくりワークショップ」を開催し、作家がみずから、ものづくりの面白さ、ものを大切に作る心を伝えている。



「吉野・三茶屋」での海外からの研修生の受け入れ

また常時体験できるお箸やスプーンなどの日用品のほか、予約すれば、紙すきや行灯づくり、陶芸などの本格的なアート製作も可能である。

■一層の交流進展を目指しバス会社とも共働

「奈良の工房街道を巡るものづくり作家に出会う旅」

この地域では公共交通での移動手段があまりないことが課題となっており、交流人口の増大を目指して、現在、奈良交通との連携で、奈良市内発着の着地型の旅行商品化も企画・検討されている。

ものづくり作家との交流をテーマとしており、紙すきや陶芸、草木染め、木工などのものづくり体験に加え、周辺の豊かな自然散策や社寺見学、こだわりの食の提供など地域の魅力を堪能できるコースが考えられており、来年 5 月から運行予定である。

同協議会では、体験や交流を通じて地域の魅力を知ってもらい、交流人口とともに定住人口の増加にも結び付けることができたらとの思いも強い。中山間地域は過疎化・高齢化が悩みとなっているが、豊かな自然や人の魅力が多くあり、今後も「ものづくり」体験を中心に人の交流が深まる取り組みを進め、工房街道として地域全体を発展させたいと願っている。（山城 満）

工房街道交流活動拠点「吉野・三茶屋」

吉野町大字三茶屋 328-1 TEL:0746 (39) 9149
詳しくはHPで
<http://www.koubou-kaidou.jp/>